

提出書類の記載上のお願い（臨床看護学）

(1) 推薦書

別紙 1を参考に、指定の様式を用いて A4 用紙 1 枚程度に収まるように作成してください。

(2) 履歴書

別紙 2を参考に、指定の様式を用いて A4 で作成してください。

(3) 業績目録

別紙 3を参考に、A4 用紙で作成してください。

(4) 教育・研究に関する実績と抱負

形式は任意です。A4 用紙に 2,000 字以内で読みやすく記載してください。

別紙1（推薦書）

推薦書は、本学部ホームページまたは JREC-IN のホームページからダウンロードした様式の項目に沿って、文字サイズ 12 ポイント程度で作成してください。

推薦者は所属の学長または学部長（大学以外にあっては所属機関の長）、教授をはじめ、それ以外の方でも差し支えありません。

推 薦 書

記入例

（ふりがな） しまね ぼたん
氏 名 島根 ぼたん

生年月日（XXXX 年 X 月 X 日生）

候補者の所属及び現職名

□□大学□□学部□□講座 助教

推薦する講座（診療科・施設）名及び職名

臨床看護学講座 講師

候補者の主たる研究分野

□□□□学

推薦理由

□□□□・・・

参考事項

XXXX 年 X 月 第□回□□学会□□受賞

XXXX 年 XX 月 XX 日 推薦者の職 氏名（自署）

□□大学□□学部□□講座 教授

出雲 一郎 印

島根大学学術研究院医学・看護学系長 竹谷 健 殿

別紙2（履歴書）

履歴書は、本学部ホームページまたは JREC-IN の HP からダウンロードした様式を用いて、下記の例を参考に文字サイズ 12 ポイント程度で作成してください。

枚数は任意としますので、経歴等は必要に応じて行を追加して記載願います。

履 歴 書

記入例

XXXX 年 XX 月 XX 日作成

(ふりがな) しまね ぼたん
氏 名 島根 ぼたん 旧氏名 () ★必要に応じて旧姓等記載
性 別 女性
生年月日 XXXX 年 X 月 X 日 (年齢 XX 歳) ★履歴書作成日現在の満年齢

現 職 □□大学□□学部□□講座 准教授

現 住 所 〒XXX-XXXX □□県□□市□□町 XXX 番地
電話番号 XXX-XXXX-XXXX
メールアドレス mga-jinji@office.shimane-u.ac.jp

学 歴

XXXX 年 X 月 □□立□□高等学校卒業
XXXX 年 X 月 □□大学□□学部□□学科卒業
XXXX 年 X 月 □□大学大学院□□研究科□□専攻□□課程修了
★高校卒業以降の学歴を、年月の古い順に記載

学 位 XXXX 年 X 月 博士（医学） 授与大学名（ □□大学 ）

免許資格（認定医・専門医等）

XXXX 年 X 月 医師免許（第 XXXX 号）
XXXX 年 X 月 □□□□認定医（第 XXXX 号）
XXXX 年 X 月 □□□□専門医（第 XXXX 号）
★医師免許など国家試験による免許・資格、学会認定専門医等の資格を、取得年月・登録番号とともに記載

職歴・研究歴

XXXX 年 X 月～XXXX 年 X 月 □□大学医学部附属病院□□科研修医
XXXX 年 X 月～XXXX 年 X 月 □□大学大学院□□研究科□□専攻□□課程大学院生
XXXX 年 X 月～XXXX 年 X 月 米国□□大学□□病院□□科研究員

★研究生・専攻生、外国出張（1ヶ月以上）・外国留学についても記載

XXXX 年 X 月 □□□□ 学会評議員

XXXX 年 X 月 □□大学教育功劳表彰

□□学、□□手術、□□□□医療、□□に対する□□の研究 ★簡潔に記載

国際学会 XX 回

★国内学会は回数の内訳が判断できるよう、() 内に特別講演・教育講演・シンポジウム等の回数を記載

島根 ぼたん 印

別紙3（業績目録）

業績目録に指定の様式はありません。A4 用紙に下記内容を記載してください。

記載内容

- (1) 「学術論文」「著書」「特別な学会発表」の順に記載してください。
- (2) 学術論文は「原著」「症例報告」「総説」「その他」に分類し、欧文論文・邦文論文ごとに古いものから年代順に記載し、それぞれ通し番号を付けてください。
原著は査読があるものに限り、それ以外はその他に分類してください。
- (3) 各論文の著者名のうち、候補者自身の氏名には下線を引いてください。
- (4) 著書は「欧文著書」「邦文著書」に分けて年代別に記載し、それぞれに通し番号を付けてください。
- (5) 学会発表は「国内学会（特別講演、教育講演、シンポジウム等、特別なもののみ記載）」及び「国際学会（一般演題を含む）」に分けて記載し、それぞれ通し番号を付けてください。
- (6) 文部科学省（文部省）、厚生労働省（厚生省）等の班会議報告は学術論文（その他）としてください。
- (7) 学会抄録は **Proceedings** 等に原著形式で掲載されたもの以外は記載不要です。この場合は学術論文（その他）としてください。

業績目録

記入例

学術論文

欧文原著

1. Dimatteo MR, Shimane B, Friedman HS: *Helicobacter pylori* infection and the risk of gastric carcinoma. Lancet 340: 1359-1362, 2006 【IF 79.321】
2. Shimane B, Izumo I Protection of cerebral microvasculature after moderate hypothermia following experimental focal cerebral ischemia in mice. Brain Pathol 17: 174-183, 2007 【IF 6.508】
3. ***** 【IF *****】

邦文原著

1. 島根ぼたん、出雲一郎：甲状腺機能亢進症によるてんかん発作
日内会誌 125: 123-125, 2008.
2. *****

欧文症例報告

1. *****

邦文症例報告

1. *****

欧文総説

1. *****

邦文総説

1. *****

その他

1. *****

★頁を改める

著 書

欧文

1. Shimane B: Undergraduate and postgraduate rural training. In: Rural Medicine, William JW ed., McGraw-Hill Inc, New York, pp. 15-30, 2007
2. *****

邦文

1. 山田太郎, 島根ぼたん: 地域医療と医学教育, 地域医療. 出雲一郎編, 島根書院, 東京, pp. 65-75, 2007
2. *****

★頁を改める

特別な学会発表

国内学会 (特別なもの)

島根ぼたん, 出雲一郎: *Helicobacter pylori* と粘液組成.
シンポジウム「*Helicobacter pylori* と胃炎」, 第 70 回日本〇〇学会総会, 2008

国際学会

Shimane B, Izumo I: Apoptotic neuronal death in ischemia-reperfusion injury of the brain. The 20th International Congress of Neuropathology, Paris, 2008